

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2022年 1月 15日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう中寺

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5	1	1	1階と2階で活動を分けたり外遊びを取り入れたりなど密にならないようにしている。
	② 職員の配置は適切である	5	2		ご利用の曜日を前もって決めることで適切な職員配置ができています。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	5	1	1	職員で分担し清潔を保つことができるようにしている。また、清掃道具も状況に応じて対応している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		専門性、各職員の得意分野を生かすことで改善ができてきている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	1	2	職員会議でアンケートの結果を共有し、職員全員が周知できるようにする。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	5	1	1	実施している。公開したことを職員に通達し確認をする。
	⑦ 職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	7			キャラオスでの研修、事業所での研修に参加している。関係機関と連携し、研修会の情報提供を受けている。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6		1	児童発達支援責任者がしっかりおこなっている。職員会議でアセスメントをすることで職員全員が関わる機会をもつようにしている。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	5	2		役割分担で行っている。また、主となる人が交代し職員や児童の意見や希望が言えるようにしている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	2		職員全員で話し合いをしたり、児童の意見も取り入れている。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	1	1	毎日職員が話し合いをし、偏りのないような支援をしている。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	2		夢門塾のカリキュラムを基に日々の様子を見て行っている。また、コロナ禍のため密にならないようにしている。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		朝礼に参加できないパート職員さんも確認できるように毎日申し送りノートを記入し、活用している。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2		ケース入力は日々確実にし、ヒヤリハットはできるだけ当日に記入している。ケースを打つことや職員と共有することにより検証・改善につながっている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6		1	児童発達支援責任者が主体で実施している。申し送りノートや職員会議で共有することで他の職員も意見を述べる事ができている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	2	2	1	職員全員がガイドラインを回覧できるようにし、勉強もおこなう。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		急な対応には気を付けて対応している。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	5	1	1	事業所間で連携をしている。コロナ禍で対面でのお話はできていないが電話やオンラインを活用している。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	2	2	コロナ禍で訪問は難しいが、保護者様・相談員への情報共有はしている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		1	ケース会などで連携し助言をいただいている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	1		送迎時や連絡帳で子どもの状況を連携している。また、その内容を朝礼や申し送りも一とで共有し、変化時には早期に対応している。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	1	職員全員が契約書・重要事項説明書を読み確認をする。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	1	4	2	コロナ禍のため会って話す時間がとりにくくなったが送迎時や電話でお話をする機会をつくっている。また、自信をもって相談に応じていること助言ができるように職員間で話し合いをする。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	4	2	コロナ禍で控えた。落ち着くと年代別や悩み別など保護者様の希望に沿った開催をしたい。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		苦情解決は早期に実施している。本部とも連携し対応している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1		夢通信、ブログ、コドモンを活用している。
	㉗	個人情報に十分注意している	7			都度、声かけや確認をしながら慎重におこなっている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			管理者、児童発達支援管理責任者中心におこない、必要時にはケース会等をしている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	3	3	コロナ禍で地域の行事はなかったが、開催された時は参加をしたい。状況に応じて夢門塾卒業生のボランティアは定期的に来ていただいている。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	3		マニュアルの完全な理解ができるように職員全員で日々確認をする。いざという時に対応できるようロールプレイングやシュミレーションを繰り返す。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている		4	3	避難訓練は夏に1度実施。職員全員が周知できるように記録の回覧をし、実施する回数を増やす。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		年1回は必ず全員参加している。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2		現在身体拘束はないが、今後も事業所・法人で確認していく。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7			マニュアルに沿い服薬を実施、与薬表の記入をしている。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7			ヒヤリハットはできるだけ当日に記入している。申し送りノート、スタッフ会で共有している。